

両足指の裏面のみ砂浜を歩いている感じがします。7～8年前には脊柱管狭窄症になり、歩行障害が出ていました。今は元に戻りましたが、今後が不安です。アドバイスをお願いします。

(87歳、男性)

### 足の指の違和感



神崎至幸医師

足の指の違和感やしびれを訴えられる方は足の外科外来に非常にたくさん来られますが、しばしば診断や治療に難渋します。

による開張足という状態でも神経が圧迫されて足の違和感が出現します。

腰部脊柱管狭窄症は、腰椎の部分で神経が圧迫されて下肢にしびれや痛み、歩行障害(間欠性跛行)が出る疾患です。足根管症候群は足首の内側後方で神経が圧迫されて足底から足の指に違和感やしびれが出現します。

病態です。中指と薬指の間に最もできやすいですが、人さし指と中指の間にもできま

す。足根管症候群、前足根管症候群、モートン病はその病態からも片側に発症するのが通常で、両側に出現することはまれです。いずれの病態であっても違和感やしびれに対してよく

されているのかや、糖尿病▽脳や頸椎の異常▽末梢の動脈疾患▽開張足の有無などを内科や整形外科で調べてもらうことをお勧めします。

(兵庫県整形外科医会、神崎至幸||神戸市中央区、神戸大病院・整形外科・助教)

◇第1、3、4日曜に掲載します。

## 多様な要因 内科などで検査を

考えられる疾患は、糖尿病などによる末梢神経障害、脳梗塞や頸椎症などによる中枢性障害、末梢動脈疾患、腰部脊柱管狭窄症、足根管症候群、前足根管症候群、モートン病などがあります。疾患といえるかどうかは分かりませんが、足部の横アーチの低下

しびれが出現し、前足根管症候群は足の甲で神経が圧迫されて足の親指の付け根あたりに違和感などが表れます。モートン病は別名モートン神経腫といい、足の骨や靭帯

に使われるのが、神経の栄養剤であるビタミンB12製剤です。ただ、これらの症状は非常に治りにくく、完全には治らないこともしばしばあります。脊柱管狭窄症とありますが、それが原因とは限りませんが、脊柱管はこのように狭窄

によって神経節と呼ばれる神経の中継地点が圧迫されて腫れ、腫瘍のようになるという